地域とのコミュニケーション情報発信紙

敬老園便り

第27号
令和2年
1月1日発行

【編集・発行】敬老園本部／〒386-0027 長野県上田市常磐城2256-1 2F　TEL.0268-28-1170（代）



敬老園の理念

少子高齢化の進展に伴う様々な問題に、地域に根ざした社会福祉法人として三つの理念を掲げ、役職員が一丸となり社会貢献を致します。

敬老園は人間の尊厳を大切にし、柔軟な心をもってあらゆる可能性のある質の良い介護を目指します。

敬老園は公平公正な施設運営を旨とし、変化する時代を的確にとらえ社会に貢献する健全な経営を目指します。

敬老園は心と心の結びつきを基本とし、取り巻く全ての関係を誠意と熱意をもって構築することを目指します。

多岐にわたる BCP（事業継続計画）が重要に

災害・想定外が想定内の時代に

新年おめでとうございます。

昨年10月の台風19号による甚大な被害を教訓として、今後「想定外」が「想定内」と常に認識しての行動・対策が必要と思われます。

地球の温暖化により海水温が上昇し、南極大陸の氷床や山地氷河の融解が加速化しており、専門家は海面上昇は2100年までに最大2m上昇するとの可能性を指摘しております。日本の首都を含め水没地帯が広がり、政治・経済・生活面等に多大な影響が及び、防災対策面だけでも想像を絶する費用が必要となります。

平成23年3月の東日本大震災以降、BCP（事業継続計画）の取り組みが本格化しているものの、想定外への防災計画の見直しが求められます。

日本の将来、人口構造の推移が国の存亡を

BCP計画を別の視点から見ますと、75歳以上の後期高齢者人口を中心とする高齢人口増に比しての生産・年少人口減少対策は、最重要課題で「日本国のBCP計画」そのものといえます。

2025年問題（団塊の世代が後期高齢者になる）、2040年問題（85歳以上が高齢者人口の3割近くになり、高齢世代の困窮化。単独世帯者4割・孤立化の進行等）が社会保障上の危機として論じられています。

私たち事業者は、現時点でも深刻な支え手不足に日々追われ、事業の継続に苦労しております。身近では、台風19号の被害により事業撤退や長期間休業等の話題や台風に関係なく介護事業の譲渡、運営委託が多数寄せられております。

外国人による人材確保安易な受け入れに警鐘。まず感染症対策を

昨年4月からの外国人の技能実習制度に「介護」が加えられ、政策として5年間で約6万人の受け入れが発表されました。

長年当法人では、介護福祉士候補生としてEPA（経済連携協定）によるインドネシア・ベトナム人を受け入れ、更に昨年10月技能実習生としてインドネシア人を受け入れています。

一般的な大きな問題として、発展途上国からの受け入れで利用者・職員に感染するリスクが高い状態から介護現場に入ること。現状、受け入れる前の感染症の有無・検査が不十分であり、結核（凝陽性者複数出現の状況）等の検査が各事業者の責任としていることです。

当法人ではクリニックを運営しているので受け入れ時に既往を本人に確認し、ワクチン（おたふく、水ぼうそう、麻疹・風疹）、結核の血液検査に加え、毎年インフルエンザ予防接種を行っています。しかし、受け入れ以前に検査の義務付け、感染症対策を国策として取り組まないと広範に拡大し、後手の対応として大きな問題に発展するでしょう。

今後、益々外国人に依存しないと成り立たない日本。BCPは多岐に亘りますが、実のある内容にし、災害のない穏やかな年になりますよう切に願います。

理事長 斎藤 俊明

一所で一緒

チーム敬老園



No.13 さくだいら敬老園 ヘルパーステーション 介護職 坪井 真紀

2018年4月入職。ご利用者に安心していただけるサービス提供を目標に「毎日が勉強です！」と前向きに取り組む2年目職員です。

ある1日の流れ

時間	内容
8:30	出勤・朝礼
10:00	買い物代行
11:00	排泄介助
12:00	昼食の提供
13:00	昼休み
14:00	入浴介助
15:00	掃除・洗濯
16:00	受診同行
17:30	退勤



私たちは多種多様な職種がそれぞれの役割を果たすことで利用してくださる方に「敬老園があって良かった」と思っていただけるようハツラツと毎日を過ごしています。

介護職を目指した理由やきっかけとなったエピソードがありましたら教えてください。

「誰かの役に立つ仕事がしたい。」と考えている中、介護職に興味を持ったのは中学の福祉体験がきっかけでした。ご利用者の笑顔やいきいきと働く職員さんの姿がとても印象に残り、「私もケアに携わりたい!」と強く感じました。

介護職となった今は、ご利用者の笑顔と「ありがとう。」の一言にやりがいを感じています。

初心を忘れずにご利用者に寄り添い柔軟な対応を心掛けていきたいと思います。また、ご利用者の中には意思表示が上手く出来ない方もいらっしゃるので、言動の裏に隠されている思いや訴えが何なのかを汲み取ったサービス提供に努めていきたいです。

敬老園に就職して「良かったな。」と思うところを教えてください。

新人職員へのサポート体制が充実しているところです。入職前の研修、入職後のフォローアップ研修で同期との関係性が築けることや先輩職員の実体験が聞けることが安心につながります。また、配属後には教育担当職員と数か月間同じ勤務を組んでいただいたことで業務の習得に迷いがなく取り組めました。同じ事業所に同期の配属がなくても、優しい先輩職員の中で緊張感を持ちながら仕事ができています。

「仕事を通じて自分を成長させたい!」と考えている私にとって、定期的な研修や講演会の開催が年間を通じて計画・実施される敬老園は、専門的知識や介護士としての意識を高める環境が整っていると感じます。

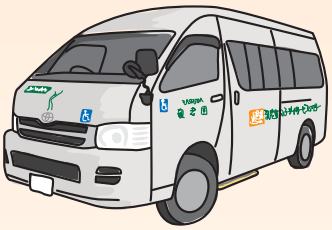
Newsその1

敬老園で　いい汗　元気いつまでも!

2019年11月1日(金)上田市丸子デイサービスセンターが「リハビリや敬老園まるこ」としてリハビリを重視した新サービスを開始しました。専門知識を持った作業療法士・理学療法士が個別のリハビリプログラムを立案し、ご利用者のご希望される身体作りをサポートいたします。







丸子デイサービスセンターは、1998年長野オリンピックの年に上田市（当時の丸子町）より運営受託し、21年が経過しました。「人生100年時代」と言われる現在、健康で過ごしていただくためには機能訓練がとても重要だと考えています。

フロアの一部を改修し、気持ち良く機能訓練ができる広々とした空間をご用意いたしました。ゴムロープで手足や体幹などの筋力強化ができるボディー・スパイダーや座った状態で歩く機能を向上させることができるアクトステップなどの最新機器で機能訓練を実施します。また、腕や足首に動作を検知するセンサーバンドを身に付け、訓練結果を数値化することで成果が目に見えて実感できます。

その他にも問題に解答するようなゲーム感覚のプログラムや、仲間同士で楽しみながら訓練が可能なプログラムもあり、いつまでも自分でできる喜びを感じていただけるよう取り組んでまいります。

タイムスケジュール

午前		午後
8:00～	ご自宅までお迎え	12:00～
9:00～	健康チェック	13:00～
9:30～	ウォーミングアップ	13:30～
10:00～	休憩・水分補給	14:00～
10:10～	集団体操	14:10～
10:40～	休憩・水分補給	14:40～
10:50～	個別リハビリ・マシンリハビリ	14:50～
11:10～	休憩・水分補給	15:10～
11:20～	クールダウン	15:20～
11:30～12:00	ご自宅へお送り	15:30～16:00

●利　用　時　間　午前9:00～12:30／午後12:30～16:00［365日営業］

●利 用 対 象 者　主として ●要支援1・2の方　●事業対象者

●利用料金（目安）　要支援1の方が週1回程度利用した場合…月額1,655円
※詳しくは、お問い合わせください。　要支援2の方が週2回程度利用した場合…月額3,393円

要介護の方も、敬老園ならではの温泉活用での入浴や
美味しい食事で癒されるサービスを引き続きご利用いただけます。
詳しくは、担当者までお問い合わせください。



社会福祉法人
敬老園

［本部］〒386-0027 上田市常磐城2256-1
TEL.0268-28-1170（代）
FAX.0268-28-1172
社会福祉法人敬老園　ウェブ検索

「リハビリや敬老園まるこ」ご利用のお問い合わせは

☎0268-42-6491　【担当】清水／小林／上垣
上田市丸子デイサービスセンター　上田市上丸子1600-1（丸子ふれあいステーション内）

Newsその2

敬老園で実現できるワーク・ライフ・バランス
～クラブ活動編～

「先輩って走るの速いんだ!仕事をしている時は、いつも落ち着いているから。」

「今まで話したことがなかったけれど、共通の話題が見つかり一気に意気投合した!」

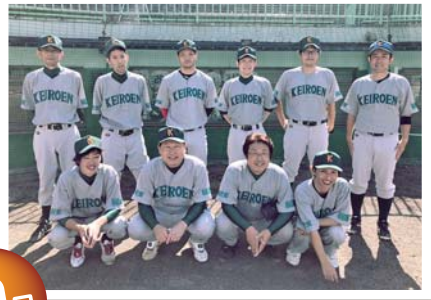
元気いっぱいにハツラツと毎日のケアに取り組むためには、心と体の健康が大切だと考えています。その一翼としてクラブ活動の充実を目指しています。現在、敬老園には5つのクラブが活動をしており、事業所を越えて同じ楽しみを持つ仲間との交流や、上司や部下の仕事以外の新しい一面を発見できる良い機会となっています。

クラブは、申請することで発足ができます。過去には、サッカーやバレーボールも活動をしていました。今後、「職場の仲間と活動してみたい!」という積極的な取り組みが増えることを期待しています。



9月 盛大に開催されたゴルフ大会





10月 上田市民体育大会(軟式野球)準優勝



6月 白樺湖駅伝大会参加

News その 3

続けること、積み重ねの大切さ

感謝状をお渡する
斎藤理事長(左)
宮下 賢様(右)



歌謡教室を主宰し、歌手として作曲活動を続けていらっしゃる宮下賢様から車椅子2台の寄付をいただきました。宮下様は、平成10年から22年間にわたり開催しているチャリティーコンサートの収益金の一部を「地域の福祉のために。」と各自治体などへの寄付を継続されており、22年間に及ぶ寄付総額は、720万円を超えます。

敬老園が宮下様から寄付していただいた車椅子は合計で15台となり、デイサービスや有料老人ホームを中心に大切に使わせていただいております。「贈る相手の顔を見ながら、目に見える寄付を続けていきたい。音楽を通じて地域に少しでも貢献できるなら。」と今後の活動について力強く話してくださいました。

私たちも役職員全員がそれぞれの立場で役割を果たし、気持ちを繋ぐことの継続を将来へ向かって強く想う1日となりました。

News その 4



あおば寮の建設、着々と

あおば寮が
着々と建設中
写真奥が、しおがわ敬老園



上田市の丸子地区にあります「しおがわ敬老園」隣地に建設中のあおば寮(職員寮)。令和2年2月末に竣工予定で建設が順調に進んでいます。2階建て全10室のワンルームタイプ。入居する職員が広々とした空間で快適に過ごせるようエアコンや収納豊富なウォークインクローゼットを完備し、バスとトイレが別々となっています。

今後も一生懸命に福祉に向き合う職員の想いを汲んだ職場環境作りに努めてまいります。

社会福祉法人
敬老園
[本部]〒386-0027 上田市常磐城2256-1
E-mail jinji@keiroen.or.jp
■法人本部 人事・教育研修部人事課【担当／山口・霜村】
0120 FreeDial 0120-70-1651
8:30～17:30
社会福祉法人敬老園 ウェブ検索



五感で味わう敬老園の食事 ～栄養部から～ その14

喜んでいただける食事 ホッとする食事を

うつくしがはら温泉敬老園 松本市大字里山辺67-1

うつくしがはら温泉敬老園では、季節ごとに様々な催しを企画しております。

盛大に開催された夏祭り

豚骨からじっくり時間をかけてダシをとった「こだわりスープ」と「手作りの熟成チャーシュー」をお供にした特製ラーメン！ 食欲をそそる香りの朴葉（ほおば）焼きもご一緒に！







創作活動を促進し、生きがい作りを目指した作品展。



芸術の秋に “おもてなし”の気持ちを添えて

「和」穏やかな時間・のどかな時間をテーマに開催された第8回中信地区作品展では、お茶やおやつを召し上がって、作品をゆっくりとご鑑賞していただけるよう喫茶コーナーを設けました。手作りのリンゴタルトとあんこのシュークリームをメニューに温かいお飲み物で穏やかな時間を演出いたしました。

これからも、ご利用者様と地域の皆様に喜んでいただける食事の提供に取り組んでまいります。

うつくしがはら温泉敬老園 栄養課主任 道家 康也

編集後記

新年おめでとうございます。

考えると、令和元年の1月はありませんでしたので、令和になって初めての新年を迎えております。今年も「ご利用者へ」「一緒に働く仲間へ」「支えてくださる方々へ」感謝と思いやりを気持ちを持って「チーム敬老園」で取り組んでまいりたいと思います。令和2年、今年もよろしくお願いいたします。（倉島）